

福岡県立大学 同窓会会報

第16号

福岡県田川市伊田4395
福岡県立大学内
福岡県立大学同窓会事務局
TEL(FAX)0947-42-2777
平成19年1月15日発行



同窓会にあなたの思いを

同窓会副会長 川上鉄夫



私は社保短4期生ですが、卒業して35年が過ぎようとしています。同窓会と係わりを持ったのは、「社保短から県大移行記念事業」の実行

委員となったことが契機で、それから現在まで13～4年が経ちました。この間、大学や同窓会の発展のため、先輩同窓会役員の方の指導をいただきながら、出来る範囲で無理をせずに取り組んできました。同窓会の取組みの主な活動として、県立大学発展のための様々な支援、同窓会充実のための規約や会報の見直し、同窓会事務局の環境整備についての協議、県立大学に看護学部が創設されたことに伴う旧県立看護専門学校同窓会の県立大学同窓会へ

の加入統合などに携わってきました。しかし、同窓会の活性化には、まだ多くの課題があるように思います。会員の皆さん、親睦は十分にできていますか。仕事上で、同窓生のメリットを最大限活かすことが出来ていますか。現在同窓生の人数は、約8千人を超えております。その同窓生の多くが福祉、保健、医療の分野などで、全国的に活躍されていると思われませんが、残念ながらネットワークの構築には至っておりません。皆さんが同窓会をもっと身近に、また有効に感じてもらえるようになればと考えますが、如何でしょうか。今までの同窓会の既成概念にとらわれることなく自由な発想で、色々と提案をしていただけませんか。そして同窓会活動に少しでも関わっていいと思われる方は、どうぞ事務局にご連絡ください。各期の幹事の皆さん、少なくとも2年に一度は幹事会への出席やメール、手紙による連絡をしていただけませんか。そうしていただくことが、同窓会役員や事務局の関係者にとって、活動への新たなエネルギーとなります。よろしくお祈りします。同窓生の皆さんが、一人でも多く、心の思いの少しを大学と同窓会の発展充実のために、注いで頂ければ幸いです。

同窓会・大学の益々の発展を！

副理事長 中田 義三

月脚会長をリーダーに8000名擁する同窓会の皆様が、充実した会報発行、総会の開催等着実に事業を展開されるとともに、母校福岡県立大学並びに後輩学生の支援・応援の輪を広げてくださっていること、大変心強く、深く感

謝申し上げます。

福岡県立大学は、福岡県の行政・制度の大枠にありながら、平成18年度から公立大学法人として自律的活動レベルやコミュニティの一つとして更なる充実発展をめざして歩み始めました。理事会の大切な役割は、福岡県立大学の現在と未来を担保し発展させてゆくことでもあります。

その目指すところは、競争・個性化・人生2万日から3万日に伸長した高齢化時代の中で、地域共生・貢献を具

目次:

頁

同窓会にあなたの思いを 同窓会副会長	1
同窓会大学の益々の発展を！ 県立大学副理事長	1
付属研修所 生涯福祉研究センター長	2
同窓会室学内設置	2
同窓会事務局よりお詫び	3
次年度同窓会総会のご案内	3
会員への協力要請	4
就職情報&ジョブネットワーク	4
大学教員動向	4
第15回秋興祭を終えて	5
あれこれトピックス	5
同期会開催報告	6
追悼コーナー	6
先生方よりメッセージ	7
同窓生の声 (保母養成所)	7
同窓生の声 (社保短)	8
同窓生の声 (保健婦養成所)	8
同窓生の声 (公衆衛生看護学校)	9
同窓生の声 (県立看護学校)	10
HotMail 私のこの頃 (保母養成所)	12
HotMail 私のこの頃 (社会保育短大)	13
HotMail 私のこの頃 (県大)	13
HotMail 私のこの頃 (保健婦養成所)	13
HotMail 私のこの頃 (公衆衛生看護学校)	14
HotMail 私のこの頃 (県立看護専門学校)	15



現代の大きな柱に据えることです。戦後の保健婦学校を嚆矢とし60年を超える伝統で培った人材養成と研究活動の展開をベースに、教育・医療・保健・福祉・事業等の幅広い分野で活躍する人材の輩出、並びに地域社会と連携を密にした貢献活動の拡充であります。

具体的には研究機能の充実を図り、地域共生に貢献するため、生涯福祉研究センター・ヘルスプロモーション実践研究センターから成る附属研究所を開設し、去る10月に開設記念式・シンポジウム等を行いました。この研究所を中心に、田川市・周辺自治体と連携した医療・福祉関係事業を推進してゆく予定です。

看護学部は、19年3月初の卒業生を輩出します。同時に大学院修士課程を発足（18年11月認可）させます。医療分野で求められている高度なスキルと

素養を有する人材育成を一層拡充します。

学生のキャリア形成・人間力養成にも力をいれます。

人間社会学部と看護学部のカリキュラムを骨太でより有機的な編成となるような見直しを図り、学生のキャリア養成に必要な科目の充実もはかります。

18年9月、韓国・大邱韓医大学校と交流協定に調印し、11月には具体的な留学生交換覚書を結びました。海外協定校は、従来からの南京師範大学と2校になりました。現在、南京師範大学と留学生の相互派遣・受入れを行っていますが、19年度からは大邱韓医大学校とも行う予定です。

4年制大学となって14年、校歌・学歌がありませんでしたが、歌詞を募り作曲者も内定。来春3月の卒業式でご披露の予定です。学歌が学生の皆さんに親しまれ心の縁となることを願って止みません。

紙幅が尽きました。同窓会のご支援の下、理事会・教職員は一丸となって教育・研究・社会貢献を柱に、学生が福岡県立大学を好きになって卒業し、大学は地域から愛され期待され、福祉系の小粒な総合大学としてブランド力を確立すべく、その夢の実現に一丸となってベクトルを合わせ邁進する所存です。

附属研究所 生涯福祉研究センター長 清田 勝彦（人間社会学部教授）



本年4月より福岡県立大学附属研究所（所長名和田新学長兼務）が発足しました。附属研究所は、生涯福祉研究センターとヘルスプロモーション実践研究センターから構成されます。生涯福祉研究センターは、平成10年4月に開設されて

以来、8年間にわたって事業を展開してきましたが、新たに本年4月からヘルスプロモーション実践研究センターが発足しました。本年10月7日には「附属研究所開設・ヘルスプロモーション実践研究センター発足記念事業」（記念講演・シンポジウムなど）が多くの関係者・市民の参加のもと盛大にとり行われました。以下皆様に両センターの活動状況について紹介させていただきます。

生涯福祉研究センターでは、学内での「研究プロジェクト」のほか、厚生労働省より助成金を得て『若年労働者の就業実態』に関する「福岡県労使就職支援機構」との共同研究や、「福岡県保健福祉部」からの受託研究『被生活保護者の自立阻害要因の分析』などの研究調査を手がけています。また、「福

祉用具研究会」、「おもちゃ図書館・田川」、「お父さんとお母さんの学習室（親訓練）」、「自閉症児・発達障害児の発達相談」などの地域支援事業や、「筑豊市民大学」の共催、「筑豊地域産学官技術交流会」参加などを実施しています。

本年4月にスタートしたヘルスプロモーション実践研究センターでは、教育研修部門として、各種リカレント教育を計画し、地域住民対象事業として「健康大使」育成事業を中心に地域住民の健康づくりへのお手伝いが計画されています。研究事業部門ではヘルスプロモーション関連研究を重点的に、研究推進の仕組みを計画中です。ヒーリングセラピーの専門家による「オイルマッサージコース」や、「世にも珍しいマザークラス」は多くの方々から好評をいただいております。

両センターは相互に密接な連携をはかりながら、学際的共同研究や地域貢献事業など新しい附属研究所として発展をはかっていきたいと願っております。今後とも皆様方の厚いご支援、またご指導とご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

○ 同窓会会報発行について

同窓会年会費納入ありがとうございます。同窓会会報16号は、昨年と今年度、同窓会年会費を納入下さった方への発送となっております。もし、同期の方や同窓の先輩、後輩の方で、年会費を納入したのに、会報がお手元に届かなかったとの、事務局不手際がありました場合は、是非、ご一報ください。

同窓会室学内設置

平成9年より、同窓会は、県立大学の図書館1階の生涯学習研究室（地域貢献活用の為に設置された部屋）を1週間に1度、借用するという形で、事務局を開設してきました。年々の卒業生を同窓会会員として迎え、また、平成16年には、県立看護専門学校と同窓会会員を迎え、その事務量は当初を大きく上回るものになっていました。学長交替の折りには、新学長と三役の懇談会を開き、県立大学同窓会の大学への貢献、同窓会活動の発展の為に、同窓会室をと要望してきました。

この度、足かけ10年間、長年の要望が実り、学内に同窓会室が設置されました。

県立大学に今年度10月、付属研究所（生涯福祉研究センター&ヘルスプロモーション実践研究センター）が開設となり、それに伴い、今まで借用していた図書館1Fが改修の対象となりました。学内協議の結果、3号館の1階3108号（旧同和研修資料室）に同窓会室が設置されることになりました。9月末に同窓会の資料や事務用品を移し、電話の移設等々を行いました。県立大学や田川にいられた折りには、同窓会会員の方々にも利用していただければと思っています。今後、同窓会会員のサービス、準会員である県大在学生のサービス等を向上できるように、事務局体制の強化を図りたく思っています。ご協力よろしくお願いいたします。



同窓会事務局よりお詫び

福岡県立大学キャリアサポートセンター立ち上げに際し、福岡県立大学同窓会の電話回線に不都合が occurred、7月12日から8月24日の間、同窓会事務局の電話が不通となり、会員のみなさまには大変ご迷惑をおかけしました。

この間の同窓会事務局への問い合わせ電話、FAXは、全く届いておりません。お手数ですが、再度ご送信いただきますようよろしくお願いいたします。

○ 同窓会事務局へのお問い合わせ

同窓会専用のFAX電話を設置しています。同窓会事務局へのお問い合わせは下記の電話番号までお願いいたします。

現在、事務局作業日（毎週金曜日10:00～17:00）には電話によるお問い合わせを受けております。事務局体制の強化と伴に、作業日も拡大していく方向ではありますが、現在は、金曜日以外は留守録設定となっております。お名前・卒業期・お電話番号を留守録メッセージに残していただければ、事務局より連絡させていただきます。

FAX、E-mailの場合はいつでもご送信下さい。

〒825-8585 田川市伊田4-3-9-5
福岡県立大学内
福岡県立大学同窓会事務局

TEL (FAX共通)

0947-42-2777

メールアドレス

kendai-dosokai@kbf.biglobe.ne.jp

来年度同窓会総会 ご 案 内



日時：平成19年8月5日（日）

10:00～15:00

会場：門司港ホテル

北九州市門司区港町9番11号

TEL (093) 321-1111

内容：総会

シンポジウム

懇親会

会費：5,000円

当番期： 福岡県立保母養成所 9・10期

福岡県社会保育短期大学 22・23期

福岡県立大学 10・11期

福岡県立保健婦養成所 2期

福岡県立公衆衛生看護学校 12期

福岡県立看護専門学校

保助 2期 看護 2期・12期

保健 2期・12期・22期

助産 3期・4期

☆当番期にあたっている卒業期の方へ……負担に感じず、同期会のチャンスです。是非、同期の方々でお声をかけあって、お集まり下さい。☆

会員への協力要請



同窓会の皆様、お元気でお過ごしのことと存じます。私は、もう70歳になりましたが、おかげさまで、相変わらず元気で多忙な日々を送っています。

今、延岡市の九州保健福祉大学と、聖ウルスラ短大の非常勤講師を勤めながら、ボランティア活動をしています。担当科目は、児童福祉論・保育内容（人間関係・環境・言語）保育実習等です。

延岡市の社会教育センターに、家庭教育・子供問題等の講師として、登録されていますので、連絡があ

りましたら、日程の調整をして、お役に立たせていただいています。

福岡で、NPO子育て支援「ひかりと星の国」をやっと立ち上げました。平成19年5月から、NPOの活動として緊急子育て支援に対応できる人材の育成（講座）を始めますので、ご協力をよろしくお願いします。又、11月16日に、「よく分かる男女共同参画」というテーマで、子供の健やかな育ちの視点から、講演をします。いま、原稿書きで大変……。読んで、ご意見を寄せていただける方に送らせていただきますので、このことも、よろしくお願ひいたします。

活動場所 福岡市南区野多目1-14 コーポ大橋3-103
FAX・TEL 0982-31-0384

保母養成所4期 糸静子

就職情報提供&

同窓会ジョブネットワーク

日頃より、県大生に同窓生としての、親しみを感ず、実習情報や就職情報を同窓会にお寄せいただきありがとうございます。会報15号にて、求人情報提供用シート（返信封筒）を同封させていただきましたところ、正規職員、正規社員、臨時職員、臨時社員、嘱託職員、アルバイト情報22件をお寄せ頂きました。ありがとうございます。

お知らせいただいた就職情報は、情報提供者の個人情報を守り、就職情報のみを大学側にお知らせしています。求人票として、就職サポートセンター（学内7月設置）に掲示しております。求人票の職

を望む在学生から、同窓会事務局へ連絡があり、情報提供いただいた就職担当の連絡先まで、つないでいます。

冬号にも、就職情報提供シートを同封いたします。年度末に向けて、職場や関係機関での求人情報がありましたら、随時、別紙返信封筒にて、同窓会事務局まで、送付下さいますよう、よろしくお願ひいたします。

経験者を望む求人もあります。就職サポートセンターには、卒業生向けの掲示コーナーがあります。しかし、同窓会会員の方々には、なかなかお知らせする方法がみつかりません。求職中で、情報が欲しい方、同窓会まで、ご一報下さい。

人間社会学部・看護学部教員動向

今年度4月にスタートした公立大学法人、福岡県立大学の役員・委員と新任教員を紹介いたします。

【法人役員】

理事長 名和田 新
（県立大学学長兼務）
副理事長 中田 義三
常務理事 松田 初善
（県立大学 事務局長兼務）
理事（教員兼理事）森山 沾一
（県立大学人間社会学部教授）
理事 麻生 泰
（株：麻生代表取締役）
理事 芳賀 昂壽
（社会福祉法人年長の里理事長）
監事 小宮 学
（筑豊合同法律事務所）
監事 本田 征洋
（本田公認会計士事務所）

【経営協議会】

名和田 新（県立大学学長兼務）
中田 義三
秋吉 一明
（秋吉整形外科医院 院長福岡県立大学とともに歩む会会長）
伊藤 信勝
（田川市長）
柏木 正清
（田川商工会議所 会頭・柏木商店（株）社長）
中原 弘子
（赤村特産物センター運営協議会 会長）

矢野 淳
（福岡県身体障害者リハビリセンター長）
吉村 恭幸
（社会保険田川病院長）
仲上 健
（福岡県立田川高等学校 校長）

【教育研究協議会】

理事長 名和田 新
委員 森山 沾一
委員 古橋 啓介
委員 安酸 史子
委員 中野 栄子
委員 清田 勝彦

【新任教諭等紹介】

渡邊 智子 助教授
宮城 由美子 講師
杉野 浩幸 講師
津田 智子 講師
小森 直美 助手
前田 佳子 教授
山名 栄子 助手
手島 聖子 助手
政時 和美 助手
片山 尚子 助手
森崎 直子 助手
安枝 由美 保健師

第15回秋興祭を終えて！

第15回秋興祭実行委員長 柴田紗代子
秋晴れの中、11月11・12日に開催された秋興祭も無事終わり、気付くと寒空の日々が続く季節となっています。今年の秋興祭は1日目がいにくの雨模様でしたが、2日目は天候に恵まれ2日間とも客足が途絶えることなく終わることができ、実行委員一同大変うれしく思っています。今年のテーマは『有頂天祭～やるなら今しかねえ！～』とし、総勢68人の実行委員で取り組んできました。このテーマは「有頂天外」という‘この上なく楽しく、喜ばしい様子’を表す四字熟語にかけ、これまでより一層楽しく、盛り上がった祭りになろう！という意味が込められています。そこで、新しい企画としてお化け屋敷、体育館でのミニゲーム、ちょうちんを飾ること、この3つを実行し、大成功を収めることができました。新たな取り組みを行うことは大変労力の使うことでしたが、今振り返ると私にとっても実行委員皆にとっても、良い経験だったと思いま

す。来年は、この経験を元にして、更に楽しい秋興祭をつくって下さい。最後になりましたが、秋興祭の開催にあたり、多大なご支援・ご協力を頂きました全ての皆様、本当にありがとうございました。



あれこれトピックス

○精神保健福祉士

わが国では、精神障害者に対する社会復帰や社会参加支援の取り組みが、先進諸国と比較して立ち遅れていましたが、近年になって関係法の改正など基盤整備が図られています。

精神障害者が社会復帰をとげるためには、医療従事者が行う診療行為に加え、退院のための環境整備など、さまざまな支援を行う人材が必要ですが、そんななか、1997年に精神保健福祉士法が公布されました。精神障害者の保健や福祉に関する専門知識を習得し、社会復帰に関する相談援助を行う専門職として精神保健福祉士が誕生しました。厚生労働大臣が認定する国家資格です。

合格率は約6割で、社会福祉士とあわせて受験するケースも多く。また、合格者の男女比は1対2ほどで、女性の資格取得者が目立っています。

受験資格は、4年制の保健福祉系大学で指定科目を履修したり、一般大学卒業後、精神保健福祉士養成施設で1年間学ぶなど、学歴や履修科目によって、一定期間の相談援助実務や養成施設での学習などが要求とされます。

資格取得後は、精神科医療機関や精神障害者社会復帰施設、保健所・保健センターなどで、精神障害者の入退院に関する相談に応じたり、日常生活適応のために必要な訓練や指導を行います。

受験資格 保健福祉系大学または養成施設を卒業

4年制の保健福祉系大学で指定科目を履修する。そのほかの場合は、学歴等に応じて実務経験や指定の養成施設で学ぶことが必要になる。

学び方 学校、養成施設

大学や養成施設などで学ぶほか、実務経験が必要な場合もある。

取得期間の目安 4年～

保健福祉系の4年制大学を卒業する。または相応の実務経験や養成施設で学ぶことが必要。

受験費用 1万2500円（06年の受験手数料）

試験時期 1月下旬

年1回の実施。06年の試験地は北海道、宮城、東京、愛知、大阪、広島、福岡。

合格率 61.3%

05年のデータ。受験者数6711人、合格者数4111人。

取得者の傾向 05年の合格者のうち、保健福祉系大学等卒業者が36.5%、養成施設卒業者が63.5%を占める。

想定できる収入 大卒で資格を取得した場合病院などの初任給推定17万円以上

主催団体 主催団体名：

(財) 社会福祉振興・試験センター

郵便番号：150-0002

住所：東京都渋谷区渋谷1-5-6 SEMPOSビル4F

電話番号：03-3486-7559（試験案内専用）

備考：<http://www.sssc.or.jp>

(Yahooステップアップ、ケイコとマナブnetより抜粋)

同期会報告

〇いきいき元氣・七期会

保母養成7 今木 恭子

10月中旬、掛川市に住む高渕さんと、富士市に住むまだ現役ばかりの、村上さんが企画してくれた「富士五湖周遊七期会」へ向かう新幹線がまもなく集合場所・新富士駅の案内を始めた。

新富士駅に集まったのは、14名久し振りの懐かしい顔、顔である。各地に散らばっている同期生が、2、3年おきに企画して、七期会として継続開催されている。気楽に参加している楽しい同期会である。

企画してくれた二人は、毎日富士山を見ながらの生活、うらやましい限り。今回、富士山が存分に楽しめる企画を準備してくれた。逆さ富士が見える田貫湖の休暇村に泊まり日出を待った。すーとかすかな閃光を見たが残念な結果に終わる。次は富士登山(?)である。富士宮口に向かう富士スカイラインは、紅葉真っ只中。黄色の彩りが鮮やかでところどころに紅色が自己主張、なんともいえぬコントラスト。バスが五合目に到着、2,400Mあるがみんな平気な顔をしている。秋晴れの真っ青な空、雲海もすばらしい。宝永山めざして登ることになる。この山は、宝永年間に爆発して出来た山。富士山の美しい姿の中にある山とはどうしても思えない。何処からともこのでこぼこは見当たらないから。しかし、掛川に住む高渕さんによると、掛川方面から見るとこの出っ張りが見えるとのこと。初めて知った山である。日本



「百名山」踏破まで2座を残すのみの波多野さんは「今年富士山に2回登ったよ」と涼しい顔。五合目付近散策といえども富士山独特の火山土、ガレ場もある。ガイドさんを先頭に、進んだ・宝永山をバックに写真も撮った。少し足の不自由な矢野さんが、みんなに励まされながら、歩き通した。「初めてよ・・・」達成感が笑顔一杯に感じられた。いよいよ最後の夜、みんなで歌い、踊った。静岡ねりんピックで、コーラス部門を担当する高渕さん、福岡でコーラス活動をしている山下さんとのすばらしいデュエット、利根さんの手話ダンス、橋本さんの透き通るような歌声、折り紙達人の梶屋さんがバラの花をみんなにプレゼント、参加者14名がそれぞれの地域で、いろいろなボランティア活動に参加している。二泊三日の旅は、お腹がよじれるほど笑い、今を語り、これからを語り、自分の生き方を確認するすばらしい旅でした。高渕さん、村上さんお世話になりました。次回は、宮崎の大佐古さんが発信してくれる予定です。

★旧教職員（県看の旧教職員を含む）は特別会員として、訃報に際して、同窓会から弔電を送っています。訃報を同窓会事務局までFAX又は電話でご一報ください。FAX・電話共通0947-42-2777

〇保母養成4期恒例の旅

保母養成4 梶原 京子

四期生の私達は、2年に一度、恒例の旅を様々な場所で行って参りました。今年は古稀祝いを兼ね、箱根で二泊三日の旅を十四名のメンバーとともに楽しみました。十月二十三日、小田原駅に集合、会えば五十年の時間の流れも消え去り、和やかな雰囲気、逗留先のホテル「グリーンプラザ箱根」に向かいました。

途中、お正月の箱根駅伝の走路も通り、貸切バスのお話上手の運転手さんに笑い声のたえない道行でした。二日目は桃源台より箱根町まで芦ノ湖海賊船に乗り、関所跡、旧街道杉並木散策というスケジュールのあと、芦ノ湖畔の山のホテルの美しい眺めのレストランにて洋食コースの昼食をとりました。

午後には、仙石原を眺めながらポーラ美術館へ向かい、その近代建築と展示を楽しみ、早雲山ロープウェイで大涌谷見学後にバスでホテルへ帰着するという盛りだくさんの一日を過ごしました。最終日の3日目は、箱根ガラスの森美術館でベネチアングラスや美しい庭園の感激も冷めないまま、日程最後の箱根の庵のそば定食の昼食に舌鼓を打ち、小田原駅で解散いたしました。心配した天気にも恵まれ、きれいな富士山の景観も堪能できた本当に充実した3日間

でした。帰路には次の計画の話も飛び出し、再会の日を楽しみに西に東にと別れを惜しみつつ帰途に着きました。



〇夏の同期会

保母養成3 村上 百合子

今年（2006年）

5月28日、福岡市天神の店で久し振りに3期生（保母養成）の同窓会を開きました。九州近辺の方に連絡をとり、15名が出席しました。現役の人退職した人、それぞれの話題に花が咲き、にぎやかに楽しく過ごすことができました。次回の幹事さんは、大木さん（宮原）、松田さん（加藤）に決まりました。



追悼：謹んでお悔やみ申し上げます。

城戸 令子（保母養成11期 H16年7月22日逝去）
井原 和代（保母養成14期 H17年逝去）

先生方からのメッセージ

<市民の皆様の期待に沿える大学に>



福岡県立大学看護学部 前教授
 松原 まなみ

私は、日本看護協会長からの次期参議院選挙候補予定者としての推薦を受諾し、本年度5月をもちまして大学を退職いたしました。

福岡県立大学での思い出は色々ありますが、一番に思い浮かぶのは、やはり、「10周年・看護学部開設記念行事」です。久永先生指揮のもと、副委員長の任を頂き、就任直後の1ヶ月あまりしかない中、初年度就任教員一致団結して取り組んだ、あの集中力と団結力、そして、それによって得られた当日の成果・・・今思い返ししても、当日のあの胸躍る感覚が生々しく蘇ってきます。

また、もう一点忘れられないのは、「県立大学を応援する会」をはじめとする市民の皆様のご支援です。

これほど市民に愛され、支えられている大学は、日本全国見渡しても稀ではないかと思えます。皆さんと交わした準備委員会での熱い議論、ともに汗を流した当日の模擬店等々、とても楽しく、「市民の期待に沿える大学を」との思いをより一層強くしながら仕事をさせていただきました。

このたび、次期参議院選挙候補予定者として新たな一歩を踏み出すにあたり、この田川でのよき思い出を胸に刻み、精一杯頑張りたいと思っています。

<私のこの頃>

福岡県立大学元学長 安藤延男

・昨秋、『人間教育の現場から：安藤流コミュニケーション』を、福岡市内の梓書院から出しました。エッセイ、評論・講演の三部構成です。最後の「福岡県立大学での2900日」（講演）が良いと言ってくれます。

・平成18年3月から、北九州市小倉北区にある西南女学院大学に勤めています。学長任期は、3年1ヶ月です。「新幹線通勤」です。

同窓生の声

<私の今昔記>

保母養成1 宮崎 敬子（黒木）



過去に頂いた同窓会会報を読み返して居りますうち、十五期生の江藤さんへの（保母養成所への思い）と云う一文に到りました。そして改めてあの百道の保母養成所は十五年で発展的閉校になったのかと感慨一入でござ

いました。

一期生が卒業した昭和二十九年頃というのは敗戦後の講和条約が或る程度結ばれ、日本の国力も少しずつ上向き始め、学生運動や労働組合活動等も随分活発化した時代でした。

女性の職業意識の目覚めと共に保育所の必要性が増し、保育者としてスタートするには絶好の恵まれた時代でした。で、特に気負うことなく保育の世界に身を置きました。約三年後に結婚し長女が誕生した頃は退職していましたが、転勤族の夫と共に新任地で暮らすのは知人が居ない淋しさがあり、又、長女も三才位になると連れて勤めることができる保母という職業はまことに便利で、保育者不足の時代は

どの土地でもすぐ新しい職場を見つけることができました。そして長女が大学を卒業し、結婚し、初孫が生まれた頃迄保育者として、職場や周囲の方々に恵まれて余り懸命になることもなく過ごしました。私が四十五才の時に夫が病死しましたが、所謂共働きでしたから何の心配もなかったのです。そして、古稀の記念に中国語とフルートを楽しみに習い、その以前からお年に一度位の海外旅行もツアーに乗ってのんびりと健康の許す限り行っています。私の今昔は自然な姿勢で少しだけ顔を上げるくらいの感じで頑張らない生涯でありたいと思っています。



セピア色の写真、保母養成所卒業頃のものです。向かって左が宮崎（黒木）中央が原田さん（秋吉さん）右が源五郎丸さん（高砂さん）

花がバックにある写真は、オランダのキューケンホフ公園で。そして、ベルギー、ブリュージュの観光船で。

左は操船中の船長さん。今年4月4日頃の最近影です。



<次世代をはぐくむ>

保母養成15期 山下 妙子

私は、今63歳、3人目の孫が生まれようとしている。高度成長時代に共働きを続け、今も継続して働いている。

わが子はおばあちゃんに育ててもらったようなもの、さて自分がおばあちゃんになったが、なかなか思うようには子育て支援はできていない。豊かさ実感の中で、なにか追い立てられるような毎日である。自分自身の生まれた生に戻り静かに死について考えようとおもうが、その前に次世代をはぐくむ工夫を、体験から子供たちに言って聞かせようと思っている。



2人目の孫のおみやげ

夫を、体験から子供たちに言って聞かせようと思っている。

「母親が幸せでない社会では、子供たちも幸せに育たない」これは実感である。おばあちゃんが集まって知恵を出し合いたいもの。

県立の同窓会で先輩や後輩の皆様にお会いするのが楽しみです。

<55歳にして又々転職>

社保短3期 進 久美子

「食事」「排泄」「睡眠」「遊び」を大切に、「生活リズムを整えましょう」と保育士時代の25年間は、自他共に譲れない一線として、離婚してからも3人の子育てをしながら努力してきました。体調不良となり、退職してからは、いつも0（ゼロ）からの出発です。パート勤務をしたり、臨時職員となったり、契約社員になったり・・・。

その間に子供たちは独立しました。親の経済状態を考慮し、高卒で民間に就職した長男は理学療法士を目指して専門学校に行き直し、国立病院に就職。その国立病院は、すぐに独立行政法人となりましたが、今もそこで勤務です。長女は、県立大学となった当校を卒業し、郵便局勤務。4月からは、東京の郵政局勤務で、お客様相談窓口にいるようです。郵政民営化の渦中で、忙しく働いています。眠らない東京にビックリもしているようです。

次男は、派遣会社の社員ですが、こちらも時代の波に翻弄されているようです。何はともあれ、健康が一番！胃潰瘍になったり、開腹手術をしたりしましたが、体力を回復し、ホームヘルパーの資格を取ってグループホーム勤務。ここで夜勤を経験しました。生活リズム、体内時計共に狂い、夜勤勤務の大変さを実感しました。仕事は楽しいけれど身体がつ

いていかず、申し訳ないと思いながらも転職しました。今は、本屋に勤務です。ペーパーの新米ながらも店長として3ヶ月が過ぎました。本屋業界も厳しいので社員は私一人で、あとはパートの方です。本を読むことの大切さを再認識され始めていますので、何かのお役に立てればと日々悪戦苦闘しているところです。クビといわれずに勤務できているのは、幸せでしょうね（薄給です）。



<おもいつくまま>

保健婦養成所1回生 中山 綾子

久しぶりに或る御夫妻にお会い致しましたところ、ご主人はにこにこしながらご挨拶をなされるのに、奥様の方は無口で以前の様な感情の起伏が全く感じられません。認知症というのでしょうかと思いがながら別れました。その後、2.3回お会い致しましたが、ご主人様はいつもにこにこしながら、優しくいたわる様にして、あちらこちらと連れて廻らているご様子です。70才半ばの奥様は、ご飯の時はちゃんとお給仕をなされるので、矢張り「これだけは昔からしていた事ですからでしょう」との事。病気のことについては何も仰有いませんが、認知症として、私も少し勉強をしなければと思いましたが、脳の事からいろいろと沢山の事が書き述べられています。到底、ここで述べる事は出来ません。散歩なされている事は大変良い事ですので、どうかお二人仲良く続けられ、少しでも好転なさいますようにと、祈っております。



保健婦養成2期 荒木 アヤ子

同窓会のお世話有難うございます。ますます、皆様のご協力で発展！嬉しく思います。元気で、精神

保健ソーシャルワーカーとして、福岡県の方々のお力添えをしています。平成18年10月5日～9日高良山～九重山を旅した写真です。妹の家族と（75歳になりました）



<終のすみか>

保健婦養成所4回生 神谷 トシ子

私は五年前よりケアハウスで月2回、今様の介護教室を開設しています。講話と整体ヨガ(ストレッチ)、マンボをセットに90分間の内容です。この歳になってマンボを踊らされたとても嬉しそうです。平均年齢87歳と高齢で皆様お元気ですが、或る日突然入院され、その後特別養護老人ホームへ移る方もいます。身辺を整理してケアハウスを終のすみかにされたのに、また、自宅でお過ごしのご夫婦のどちらかが亡くなれば、パニック→うつ状態になり日常生活が出来ない方を見受けます。日頃から生きがいを持って、自分のことは自分で管理できるように心身共に自立する努力が健康維持につながる。簡単なようですが、難しいことです。私はボランティアで介護をして生きがいに、健康維持に整体ヨガと社交ダンスを続けています。これからも介護予防教室を続け、一人でも多くの方がケアハウスを終のすみかにできますことを願っています。



<うどん1杯20円>

保健婦養成所7回生 八尋 敦子

昭和33年、六本松の保健婦養成所、松下校長先生、井上先生、北島先生、3食ご馳走になった執行さんご夫妻、寮の坂本おじさんに大変お世話になりました。

学友22名全員で寮生活8ヵ月を送りました。寮は古い木造で、朝食前の掃除は辛かったです。長い廊下を、両手で雑巾を押しながらすべっていると、近くのひかりパン屋さんから出来立てのパンの匂いがプーンとしてきます。つばをのみこんだものです。朝食では博多のおきゅうとうがよかったです。長崎出身の私は、初めての食べ物で何よりも楽しみでした。試験前

夜、ノートを友達に貸して、九大教養部前のうどん屋でテレビの“ジェスチャー”を観ていたら、井上先生に見つかり大目玉をもらいました。夕方はうどん代20円を持って大濠公園を女性ばかりでぞろぞろ散歩したものです。寮は平和台球場が近くて、プロ野球の声援もよく聞こえました。友達に西鉄の仲西 太の大ファンがいて部屋に大きなポスターを貼っていたのに、鼻ひげを落書きして友達を悲しませたこともあります。懐かしい、楽しい寮生活でした。



<長途の旅>

保健婦養成所8回生 福田 柴江

3ヵ月前に古希を迎え、ようやく人間としての最後の冒険ともなる“長途の旅年令に入った”今、この旅は誰にとっても初めてで終わりは是が非でも初めてとなる、つまり老年期としての“生と死”の貴重なる旅である。

その旅のキーワードは・自然・自由・自在それに・老いその面白味・笑いを産む・・と定め、私の“老いサン”を友に仕立て、ゆるりん、ゆるりんと旅(日)を重ね始めたところです。このような今後とは、一体どんな愉快な事々が起こり得る事やら・・・と想像しながら、“おたのしみは何が起こるか未知だから旅が面白いのさ!”と、一日一日を重ねつつ、発見かつ創造したく自分の“老いサン”へ暮らさせてもらっている由を報告し、近況とさせていただきます。

<保健師業務を顧みて、そしてこれから・・・>

公衛看14回生 南里 照子

はじめに、地域の保健師業務を37年間と産業保健2年を経験させて頂き、『感謝』の一言です。夢中で仕事と子育ての両立を成し遂げ、無事に退職することが出来ました。業務を振り返ってみると、平成9年の地域保健法の改正で、県と市町村の役割が見直され始めて今更に、平成の市町村合併が進んでいます。将来的には「道州制」が導入されるのではないかと考えています。そのような大きな動きの中で保健師業務のあり方を考えていかなくはなりません。住民一人一人

の健康が維持できるように、質の高いサービスの向上がより求められると思います。これから、地域で活躍される方々には目に見える保健師業務の開拓をぜひ望みます。

そして、第二の人生をスタートした私の生きがいは、自分探しの趣味と地域の子育て支援のボランティアに参加することです。趣味では、ストレッチ、花のアレンジ、ボトルフラワー、トンボ作り、ハムの燻製などのサークルに自ら参加して楽しんでいます。お友達も沢山来て楽しいですよ。また、年に1度は夫と海外旅行を楽しんでいます。夫婦で旅行する事は夫婦円満のコツのようです。世界遺産のDVDを見て、ワクワクしながら次の旅行地を夢見しています。



<生涯の仕事を一応終えて>

公衛看14回生 伊藤 久美子

昭和43年、田川の地に居を構えました。夫は勤務していましたので、3食昼寝付きの生活をのんびり過ごしていました。2年後、夫は自立しました。諸々の雑用が私の身にふりかかってきました。当時の田川は炭鉱が閉山した後ではありましたが、炭鉱で活気のあった頃の雰囲気は十分に残っていました。バスターミナルのすぐ近くに住んでいた私は、家から一歩出ると常に知り合いに会い、頭を下げていなければなりませんでした。

それからやがて40年。昔の活気は消え去り、人々はどこへ行ってしまったのでしょうか。そんな感のす



る今日この頃です。この地に住んで景気の上昇、そしてバブルがはじけて景気は下降。取り残された地方の町として、今、県立大学を軸に発展への道を模索しています。その間、諸々の雑用をこなしながら私がストレス解消にしてきた事は花づくりです。最初はもちろん草花ですが、折に触れ諸々の木も植えました。それらは30余年の年を経てびっくりするように育ちました。今はカトレアに夢中です。仕事を辞めた夫と共に部屋にカトレアを並べて楽しんでいますよ。

<自然と生き、自然に還る>

県看保助科7回生 池田 律子(佐藤)

卒業して30年が過ぎる。爽やかな秋の好季節を迎え、地区の皆様と共に、今、文化祭のお手伝いをしている。生きていることの喜びと人との出会いをととても大切に思う齢となった。心ある者は、お互いに会えた事に深く感謝し、流涙までする。元気のもとを互いにもらい合う。達筆ではないが、恒例の書の部に「芸術と人生」を展示できるように努めた。仕事—結婚—出産—育児(3男1女)—仕事(健康管理センターの保健予防活動)と30年。数年前に俳句との出会いがあり、自然と向き合い、共に戯れる時間を多忙の中に持つことが出来た。無知な自分を悟ることになった。もっと沢山のことを自然に学ぶ術を努めて実行できていればと反省。怖いものなしである。人間社会も自然と同様に、自然に解け合いながら無理なく、「命、愛」など大切にしていきいきと生きていけると幸いだ。甘い思いだろうか。「可愛いおばあちゃんに皆から愛されたらな。」難しいかな。

専門学校での1年間はとても大切な生きた思い出となっている。同級生の皆様、お元気で。お会いできる日を楽しみにしています。



初作俳句：

涼しさや網戸に竹の影ゆれて

<生きる意味>

県看保健婦科4回生 西本 浩子(河部)

先日家で義母を看取る。

保健師だから、高校の福祉科で介護を教えているからと、職業病のように義母の介護をした。義母が糖尿病と認知症が進む中で「心と体の健康」を目標にした私はバーンアウト。義母は楽しい事を感じられずに何のために生きているのだろうとずっと悩んだ。

「子育てが落ち着いたら介護で修行か。」と仕事との両立に悩み、とうとう入所へ。「家に帰りたい。」義母から言われ、家族の心が試される。最期の1週間は家族全員の意志で点滴やカテーテルをはずし、家で過ごす。長い間苦しみの顔であったのに、水や食事を絶たれても家に帰ると笑顔になった。家族みんなに囲まれ、3日間にはこにことし、あとは昏睡状態。義母の生きる力に感動した。

義母が亡くなって生きる意味がやっとわかった気がする。「生老病死苦」があるからこそ、この体があるのだということ。人はひとりで存在しなく、お互いに影響しあうのだということ。介護の時の苦しみが自分の成長につながっていることに気付き、今、義母に感謝している。



<家族へ感謝>

県看看護学科5回生 瀬上 栄子

29年間勤続できたことへの感謝の気持ちを、これから先は家族にお返ししていきたいと思っています。



<子育て>

県看看護学科5回生 井本 邦子

就職して30年を迎えようとしている。息子は25歳、娘は22歳になる。子供達が小さいから、何でも仕事を辞めようかと思うことがあった。その中で一番思い出されるのは、息子5歳、娘2歳の時、娘が風邪で発熱していた為、座薬を入れて夜勤に出ようとした。すると、横で寝ていた息子が突然起き上がり、「お母さんは、仕事と妹とどっちが大事なの?」と言った。いつもケンカばかりの息子の言葉に驚かされた。そして私は、「お薬を入れたから大丈夫。あとはお父さんに頼んでいるからね。お母さんのお仕事の代わりは、急には頼めないからね。」と答え、家を出た。しかし、車を運転しながら、本当に私はこのまま仕事をしていたら良いのだろうか?と涙がこぼれた。また、子供達が小学生になった時にはこんなこともあった。日曜日の夕食時、子供達のおしゃべりに主人が「今まで静かだったのに、お母さんが帰った途端、二人ともおしゃべりになったね。」と言った。すると娘が「お母さんは、我が家の太陽だからよ。」と答えた。息子も「いつも居るのが当たり前だと気付かないけど、居ない人が居るとありがたみがわかるね。」と続けた。子供たちに我慢をさせることもあった子育てだったが、理解しているのだとわかり、嬉しかった。

そこで、仕事をしているお母さん達へ言いたい。たとえ仕事のために、子供たちと共有できる時間が短くなったとしても、愛情を持って接すれば、親の気持ちは必ず子供に伝わると思う。言葉かけ、抱きしめてあげることが大切です。私は、今まで何度も仕事を辞めようかと悩んだが、現在では相変わらずおしゃべりな子供たちに囲まれて、楽しく余暇を過ごせることに幸せを感じながら、忙しい日々を送っている。



○本号より卒業校についての表記を一部下記のように、あらためます。

養成→保母養成

保養→保健婦養成

<育児奮闘中!!>

県看保健学科18回生 村上 寿代

平成18年6月に初めて出産し、現在は育児休業中です。市町村では保健師として9年勤め、その間母子保健業務もこなしていたので、ある程度の知識や技術はあります。そして育児にマニュアルはないこと、思い通りにはいかないことも十分に分かっていたはずなのに…。実際に自分がその渦中になると「なぜ」「どうして」の繰り返しで「まあいいか」と余裕が出てきたのはつい最近のことです。日々の子供の成長に慌てふためきながらも喜びを噛み締め、親として未熟な自分も一緒に成長していきます。些細なことにも純粋に感動したり、相手のことを大切に思ったり出来る育児ってすごいですね。もちろん大変なことも多いですけど。8ヵ月後には仕事復帰です。こんな気持ちを持って仕事に復帰できれば、前よりもちょっと素敵なお医者さんになれるかな。



<新しい出会いを求めて>

県看助産科7回生 後藤 輝美

振り返れば、私が県立看護専門学校の助産婦科を卒業したのは、20年以上前のことでした。助産師として仕事をしたのは、1年に満たず、大分では再就職した総合病院ではお産が少なく、助産師は不要と言われ、看護師としての採用でした。その後結婚、出産を経て、退職し1女3男に恵まれ4人の子育てを十分に楽しむ毎日を送りました。

40歳を転機にこのままではお産が怖くなると不安になり産婦人科のドアをたたき、パート助産師として再出発しました。家族のサポートもあり、6年間勤務する間に常勤になりました。先生やスタッフに恵まれた私は、お産がこんなに楽しいものかと感じ、毎日の仕事が張りのあるものでした。しかし、色々な事情からこの8月に閉院し、慣れ親しんだスタッフとも別れることになりました。

これから、私の人生における新しい職場、新しい人との出会いを求めて再スタートに立っています。

HOT MAIL 私のこの頃

保母養成所

(平成18年11月現在)

保母養成1 宮崎 敬子

昭和29年3月、保母養成所を卒業以来初めてお便り差し上げます。門司市立早鞆保育所(当時)に勤務、昭和31年7月結婚の為退職し、転勤族でしたので以後、帰福せず、現在表記の住所に居住するようになりました。生まれ育った福岡よりも、関東で過ごした月日の方が永くなりました。転勤先でも民間の保育所に勤めて、約25年間経過しました。時々福岡の姉妹の宅に遊びに帰ることもありますが、福岡も随分、様変わりして浦島さんの心境になることもあります。娘夫婦、2人の孫の計5人で暮らしています。今の楽しみは年1回位の海外旅行と、古稀を迎えるに当たって記念にと、5年前から習い始めたフルートの練習です。来夏の同窓会に出席できるかどうか判りませんが、できたらいいな。初めての終わりだからとは思っています。御校のそして同窓会の未来に幸あれと祈っています。かしこ

保母養成3 水野 フジ子

私退職しまして25年になります。ここ4,5年病気で入退院を繰り返しています。同窓会にも出席できません、すみません。皆様方にもお会いしたいんですが、この様な状態ですでお許し下さいませ。

保母養成3 原野 礼子

保母養成所卒業50年の節目:70歳の古稀を記念して同期会を5月28日に行いました。御牟田、粕屋、福岡、北九州、奈良から15名が(卒業時49名)集いました。50年間の生きざま、苦勞(?)楽しみなど近況を報告し合う中、いつしか学生時代の思い出となり時間の経つのも忘れておしゃべり・不思議ですね 学生時代の顔にもどっていました。3年後にまた会いましょう。それまで元気で生きていようと固い握手をし合った一日でした。不参加の方には寄せ書きとカラー写真のコピーを送りました。亡くなられた方、住所の不明の方が多くなりちょっぴり淋しい思いました。

保母養成9 黒羽 トミ子

横浜市役所を定年退職した後、区民利用施設のコミュニティハウスに勤務して6年目になります。9月から高齢者体操、レクリエーションの指導員の資格を活用してボランティアをする予定です。

保母養成6 金村 マサ子

S13,7,4日生まれです。毎日、スポーツクラブに行っています。永野タツ子さん、金子東美江さんお逢いしたいです。

保母養成6 老野 純子

平成10年、北九州市役所を退職しました。ただ今、すこぶる健康で毎日プーターロー!満喫しています。

保母養成15 平山 記子

同窓会のお世話ありがとうございます。卒業後、ずっと保育士をしてきました。定年まであと1年と8ヶ月となりました。家族、仕事の仲間などに支えられて今日まで働いてこれた事に感謝しているこの頃です。残された時間せいっぱい働こうと思っています。

社会保育短期大学

社保短2 社会福祉 木村 ひろみ

H18, 3, 31日付、福岡県職員退職。

社保短3 保育 進 久美子

介護士として、グループホームに勤務しておりましたが、慣れない夜勤と休憩時間をほとんど取れない状態に身体がついて行かずリタイアしました。人間関係は良好ですよ。次なる勤務先は「本屋」です。こちらにも配達などがあって結構体力勝負なのだそうです。本に対する興味一杯で頑張ってみようと思います。県立大学3回生の娘は4月から東京です。郵政公社本社で、何とか頑張っております。

社保短 保育9 山田 愛子

ヤマハ音楽教室で講師として仕事をしています。

社保短 社会福祉10 廣岡桂子

今は自宅にて、学研の先生をしています。幼児、中学生を教えています。

社保短 保育17 森永真寿美

早くも42歳にもなってしまう、体もくたくたです。保育園での仕事をずっと続けており、命を預かる大変さと、やりがいも感じております。保育の仕事は情熱的な仕事です。我が家は高校生2人と中学生1人そして、主人と義父母7人家族です。

社保短 社会福祉22 中村由美子

地元の小学校で事務の仕事をして15年が過ぎました。初めは仕事の内容が全く分からず、どうして?の連続でした。今は子供達がどうしたら学校で勉強しやすいか、先生達がどうしたら授業をしやすいかを考えながら仕事の大切さを感じています。ミスや人間関係で落ち込むこともたくさんありますが、公務員として一生続けていきたいと思っています。小三と小一のわが子の成長をみながら自分も、家族に支えられて、なんとかやってこれたように思います。柳川に来られた際は、ぜひお逢いしましょう。楽しみにしています。

社保短 保育24 佐藤 留未子

卒業後、鶴崎保育園に勤務、現在第3子を妊娠中で産休に入っています。

社保短 保育25 吉田カヲリ

妹が東京で結婚式を挙げました。近くに住む友達2人は妊娠中です。遊びに行くのと学ぶ事も多く、勉強に

福岡県立大学

県大3 田嶋 雅子

皆様、お元気でいらっしゃいますか?2005年、漸く御縁あり結婚致しました。結婚前は、料理等、ほとんどしたことありませんでしたが、結婚して、「食」の大切さを実感し、毎日、料理に燃えています。美味しい食事は、楽しい会話をもたらし、家庭が明るくなりますね!!

匿名希望

卒業後は、病院にて2年間心理士として働いておりましたが、臨床現場の厳しさを感じ、大学院入学を考えました。現在は、週1回の勤務に変更して頂き、仕事を続けながら大学院に通っております。今年は、大学院卒業にあたるので、修士論文の研究に、臨床の実習に忙しい日々を送っておりますが、とても有意義な毎日です。

保健婦養成所

保健婦養成1期 中山 綾子

成人病センターで心筋梗塞の手術後以来、予約指定日に行っておりますが、心臓は心配ないが胆石があるからと手術をするように言われているところがございます。公民館に於いては、月1回高齢者の集まりがございます。新年宴会、血圧測定、転倒防止の為の軽い運動、あるいは警察署見学とあって外でのお勉強もあります。隣組でも、いこいの家に月1回集まって、新年宴会、桜見、1日バス旅行、餅つき。この時はお若い方々が沢山お見えになられて、テキパキと餅つきが始まります。お鏡をとられたあと、大根卸し、ぜんざい等を配膳。私共は手汚さずで、有難く感謝の念でいただいて、今年最後の集会となり、又来年へとつなげます。

保健婦養成2期 嶋 スエノ

現在92才になります。元気にいたしております。1人暮らしです。

保健婦養成2期 荒木 アヤ子(田中)

長年令を迎えながら、現在も精神衛生に関する福岡県地域精神協議会の関連の地域保健協議会の一員として、お仕事を頂いています。健康に過ごす日々を送れることに感謝しつつ。恩師伊藤久江先生の天昇を知り、大宰府の学校の教務室で、御一緒させて頂いた日をしのび、ご冥福を祈っています。

保健婦養成2期 松本 チエ(田中)

去年6月30日まで在宅保健師として検診の手伝いをしておりましたが、夫を亡くし体調を崩したりして今、自宅で自分の身体を調整しています。もう、72才です。年金暮らしですので、今回限りで卒業させていただきます。皆々様の益々の御発展をお祈り致します。

保健婦養成2期 古川 富美子(鶴田)

定年退職して早、15年を迎えようとしています。お陰様で卒業後、市内の公立小・中学校の養護教諭として

社保短22・23 保育科卒の方 今年の門司港ホテルでの総会は当番期になっています。

同期の方、簡単なお仕事ですので、ぜひ協力してください。よろしくお祈りします。

38年間、無事務めました。現在は年には勝てず、腰、膝等の痛みで病院にお世話になっておりますが、どうか一人で生活していく分には身体がまだ動いております。元気でおりますので、何らかの形で皆様方のお役に立ちたいと頑張っております。

保健婦養成4期 神谷 トシ子

遠距離介護中で合間に介護保険認定審査員を務めていますが、どちらも老後の勉強をさせて頂いています。

保健婦養成4期 坪井 妙子(三次)

市役所リタイヤ後、短大で非常勤講師として小児保健、小児精神等の講座を持っていましたが退職し、自分の生活の充実を考えていたところ、今回、介護保険法の改正で地域包括支援センターでの勤務を依頼され、もう少し楽をしたいと辞退していたのですが千葉市で何とか・・・と根負けした形でこの4月からケアマネジャーと一緒に要支援の家庭訪問そして特定高齢者の対応と月～金までフルタイムで働いております。家庭訪問の都度、色々な家庭の生き方そして夫婦の“キズナ”が身にしみる感じで楽しい事そして悲しい事がそれぞれの家庭の背景にあり、今更ながら人生勉強させて頂いています。

保健婦養成4期 飯川 貞子(片山)

今年で72才になりました。しかし、乞われるままに仕事を続けております。介護保険の改正で現場は混乱し、包括支援センターの仕事が予防プランで追いかけています。介護保険も今までの様な面白さはありません。元気で頑張っていますが、そろそろ高齢には少々あきらめています。

保健婦養成5期 中村 淑子

同窓会のお世話ご苦労様です。会費納入者14%とは少し心細いですね。会は大きくなったのに会の運営が大変でしょう。

古希をすぎて一人前に足腰を痛めたり、肋骨に「ヒビ」いれたりしましたが、日常生活はどうか不自由なく来ています。

「冬ソナ」以来、韓流ドラマに嵌められてしまいました。(流行に乗るのも若さを保つのに良いかな?)と自分を納得させながら・・・。「ハングル」の勉強も始めました。「フォークダンス」「民踊」「ウォーキングとラジオ体操」「水泳」「中国語」「英語クラブ」それに、年に3～4回のボランティア等演奏のための合奏練習と、遊びに忙しい毎日を過ごしています。国内旅行はなかなか思うように進んでいません。

保健婦養成6期 舎川 ミヨ子(松尾)

同窓の皆様、お元気でしょうか。退職13年を迎え、主人と2人で趣味を楽しみながら元気に過ごしています。

保健婦養成7期 八尋 敦子(中村)

皆さん、お元気ですか。私は今のところ元気です。主人が入院することが多くなりました。私も8年前から

抗コレステロール剤を内服中です。典型的なA型タイプの性格ですので、1ついいと不安を持ちつつ、90才の義母と老人ばかり3人で暮らしています。主人と二人三脚で花作り、家庭菜園、料理をしたり、日に1～2回、パン教室と絵手紙教室に行き友達とおしゃべりするのが楽しみです。息子、娘に夫々男女2人ずつ孫がいます。4人の孫が一緒になると70才の老体では疲れます。級会楽しみにしています。

保健婦養成7期 山本 千年世(小石川)

持病の心臓病で入退院を繰り返す此の頃ですが、まだ表向きは現職として子供や孫に助けられながら頑張っております。同期生の皆さんとはすっかりご縁がなくなりましたが、このまま人生が終るのは少し淋しいような気がしております。

保健婦養成8期 福田 柴江(陣内)

定年後、10年余が過ぎ、今年8月には古希を迎えることとなり、このところ70年の物語を振り返る日々ですが、至福の味わいだった事、かたや難関を乗り越える苦悩の連続からようやく脱けいで安堵感のひとしおの想いを思い返しつつ、今更に授かりし生命として再認識し、その有機体を大切に機能させ得るように何やかやと出来ることごとを果たせねばと心している由を近況とさせていただきます。皆々様、お元気でかつ至福であれ！と陰ながら祈念しております。

保健婦養成8期 牧野 英子(北)

退職して11年が経過しました。役員の皆様方には大変お世話になります。40数年住み慣れた家も住人と同様かなり老朽がきていたので、現在住家の治療(改築)中にて取り込みしています。皆様によろしくお伝え下さい。

公衆衛生看護学校

公衆衛生看護11期 新海 美恵子(橋口)

皆様もお元気で活躍のことと存じます。県立学校を退職して6年目になります。退職後に保健師として、健診や健康相談に元気で動き回ってます。高齢者のお元気な方も多いのですが、お一人ぐらしや高齢者ご夫婦も多く、身近な人達の見守りの大切さを感じます、今日今頃です。同窓会のさらなるご発展をお祈りします。

公衆看護13期 牟田 斉子(亀田)

H15年3月に退職し、町役場の産休代替にて毎日忙しい日々を過ごしています。主に母子関係の仕事を中心にしていますが、県、国などの補助金がカットされ、町への負担が多くなっています。合併しないとやっていけない現状です。少子化を何とかしないと心を痛めて仕事をしています。休暇では自然野菜の畑仕事を楽しみながらしています。

公衆看護14期 南里 照子(土肥)

娘夫婦と同居して孫の琉(H17.7.21)誕生。自分が保健所に働いていた時は、仕事と家庭の両立は

転勤をくりかえしながら大丈夫でした。あれから30年…。元気の良い孫の育児は無理なようです。孫は時々逢うのが一番良いようですね。私は70才を健康年令と考えていますので、1/年程度海外旅行しています。スペイン、ポルトガル、H18.5はトルコで世界遺産に感動！！次回はカナダの紅葉に行けるかな？

公衆看護14期 伊藤 久美子(藤井)

夫が70才になりやっと家業を辞めました。子供がU.S.A.に留学していた時20kgの航空便をせせと送っていましたが、帰国しましたのでそれもなくりました。

フリーになって私なりのボランティアをぼつぼつ始めています。こういう生き方もあるのだと自由を満喫しています。それは自然と共に生きる静かな日々です。季節の移ろいつれ変わる景色とささやかな野菜と果物の収穫です。これこそ人間らしい生活だとしみじみ思っています。

公衆看護14期 池田 カズヨ(沼口)

伊藤久江先生が逝去されたことを第15号通信で知りました。昭和40年度、六本松の同じ敷地内で生活したことがなつかしく思い出されます。先生はメガネがよくお似合いで、いつもヘアスタイルはさりげなくアップ、口紅は下口唇しかつけないといった質素で親しみやすい反面、内に込めた保健婦(師)への情熱は講義の中で私たちに伝わってきました。先生の教えが、私の保健婦活動の原点であり38年間保健婦として勤めることができました。1年間の専門学校ではありましたが、木造2階建ての学舎がなつかしく、先生との出会いがあったからこそ、今の自分が生かされているのだと感謝しております。心からご冥福をお祈りいたします。

私も主人の母を3月24日に亡くしましたが、今でも保健師として、いろいろな場で活動しています。

公衆看護15期 山下 妙子(山下)

県立同窓会報第15号を受け取りました。すぐに目に飛び込んだのは追悼の欄です。恩師の逝去を知りショックでした。

日頃ご無沙汰している方の情報と飛躍する県立大の様子を頼もしく感じました。私はとすでに定年を過ぎましたが元気なうちは、まだまだ働かせていただきます。今、心豊かにおだやかに心をかけ職場では後輩のことも気にかけて過ごしています。

公衆看護18期 薬師寺 直子(高田)

息子は一昨年結婚し、娘は今年秋に結婚が決まり、やっと落ち着いた家庭になっていきそうです。健診後の事後作業の仕事を少しづつしています。趣味の茶道も楽しみのひとつで細々と続けています。18回生の皆様お元気でしょうか？全員集まる日を楽しみにしています。

公衆看護18期 太田 弘子(松尾)

県立大学同窓会会報第14号に(原稿依頼があり)現

況を出ささせていただきました。会報をH18.2月に受けとりびっくりしました。私がP17に又P16には先輩でありH元年と一緒に海外研修に行った新海恵美子先生の記事が掲載されており、「偶然さ」に驚いた次第です。海外研修(文部省教員海外派遣)の団員として1ヶ月ともに過ごし、その後も2年に1回はお逢いしている先生(仲間)でした。すぐTELし、ともに同じ年に原稿依頼を受けたことを会報の左(P16)、右(P17)と同じところに掲載されたことなどで話が盛り上がりました。有難うございました。

県立看護専門学校

保助2期 倉西 邦子(藤井)

就職 (株)石川島播磨重工業本社人事部 健康支援センター

結婚 S48結婚

現在 主人と愛犬の暮らし

保助2期 小川 副代(黒山)

恩師との出会い：今から丁度3年前。放送大学に通っている時の出来事です。「ちょっと、あなたこの指に薬をつけてくれる」といきなり高齢女性の声！「はあー」と言ってお顔を拝見した。伊藤久江先生ではないか？「もしかして、保助科の時、教えて下さったあの伊藤先生」と勉強どころじゃない。恩師と生徒の人生談義に1時間以上費やした。これも立派な人生勉強であると先生の「生涯学習」の見本を実際目のあたりにすることが出来ました。今は亡き、先生！もう一度、御目にかかっておきたかった。後悔先立たず。合掌！！先生の御冥福を念じています。

看護3期 上村 寛子(内藤)

暑い日が続いております。皆様もお変わりなく過ごされている事と思います。今年こそは、皆様にお会いしたいなあと思いつつ、実現が果たせない今日今頃です。体力、能力の限界で現場を離れ、今、デイサービスで働いています。それでも、ユニフォームを着ると、頑張れ…若いスタッフの中で頑張っています。できれば定年までとは思っていますが何せ、健康である事。今、元気で働ける事に感謝して。今一番の楽しみは、友人との旅行、食事会でストレスを発散しています。定年すぎたら、主人とも旅したいと思っています。

看護3期 吉田 るみ子

みなさん お元気ですか？私は処置室で元気に働いています。まだまだがんばってま〜す。

看護5期 井本 邦子

下の娘も大学4年生になりました。来年7月開棟予定の触法病棟でまた病院が変わっていくと思います。頑張って仕事をしています。

看護5期 淵上 栄子(小川)

H18年3月31日で筑後市立養護老人ホームを退職しました。

H8年4月1日から老人ホームへ異動。S52年5月10日～H8年3月31日まで筑後市立病院に勤務。しばらくゆっくり過ごそうかと思っています。

保助7期 池田 律子 (佐藤)

下関にて保健予防活動に齢をむち打ち頑張っております。新システム化で、悪戦苦闘中。地域の中での役割をしっかりと果たしていきたいと願っています。

保助7期 麻生 ヨシノ

H17年3月退職致しました。現在、地域でボランティア活動や役職等で暮らしております。趣味の家庭菜園にはまっております。

保助8期 郡島 久美子 (荒木)

保健師として、町役場に勤務しましたが、福祉担当課、町社会福祉協議会、介護保険広域連合粕屋支部と異動になり、「福祉」に魅せられました。取り急ぎ、通信教育で社会福祉の資格を取得したのですが、深みがないことに気づき、通信教育で4年大学の入学を考えています。只今53才で年令と相談中です。将来は、福祉系のNPOで働き成年後見人になりたいと思っています。「思考は現実化する」これを信じて生活しています。

保健4期 西本 浩子 (河部)

保健師として卒業後は働いていましたが、縁あって、ここ4年は高校の福祉科の教員をしています。看護の視点から考えていたケアから、福祉的なものの考え方を身につける4年間でした。認知症の義母と生活することで、看護と介護の専門職の技は鍛われたかな？心はまだまだですが…。高校生に毎日鍛われてます。

看護13期 内田 裕季子 (古賀)

夫の転勤により現在大阪に住んでいます。

保健7期 賀村 悦子 (松尾)

同窓生の皆様、いかがおすごでしょうか。保健婦科7回生として学び、今、大野城市役所に勤め15年が経ちました。この間、結婚、出産、3人の子育てと毎日、めまぐるしい毎日をおすごしています。最近、県立大学看護学部の学生さんと実習等でお会いすることがふえてまいりました。学生さんの輝きのあるまなざしに、喜びと希望を感じます。同窓生として共に歩んでいけることに幸せを感じます。先生方をはじめ、同窓生の方々に感謝をこめて。



助産7期 後藤 輝美 (佐藤)

個人病院で好きなお産をとっていましたが…。色々あってこの年で(40代も後半に入り)総合病院のアルメイダ病院に勤務する事になりました。初心にもどって一から頑張ってみます。

保健10期 矢谷 美穂 (久保田)

下関の中学校で養護教諭としてがんばっています。同窓会からお便りが来るたびに学生時代がなつかしくなり、少し初心にもどり、またがんばろうという気持ちにさせてもらっています。また同期のみなさんに会える機会があるといいですね。

助産13期 浦田 留美 (松永)

第2子出産後、国立病院長崎医療センター退職し、現在、対馬在住、育児奮闘中です。

看護21期 岡本 智子 (伊勢田)

勤続3年目となり、療養型病棟から、外来勤務になりました。末っ子が5歳になり、子育ても楽になった所です。

看護22期 秋本 真紀 (三好)

昨年11月に第2子を出産し、現在専業主婦です。下の子の育児が落ち着いたら再就職したいのですが、もう少し先の話になりそうです。

看護24期 大津 幸江 (河津)

H18. 7. 22. 第1子、出産しました。

看護25期 年光 由紀子 (鶴田)

3月に第1子出産しました。8月から主人の仕事で山口県に引っ越しました。

保健18期 村上 寿代 (高田)

H17. 6. 18 結婚

H18. 6. 28 出産

那珂川町役場(保健師)での仕事は継続せており、現在、産休中です。

看護27期 大西 知枝 (三ツ橋)

2005年10月に結婚しました。

保健20期 森田 はづき (塚本)

広島県の三次市役所 子育て支援局に勤務しています。

保健21期 福満 幸代 (新村)

2005年11月に結婚しまして、福満となりました。仕事は国立病院機構南九州病院 重心病棟に看護師として勤務しております。

保健21期 佐藤 美也子 (緒方)

H17. 10. 30 長男を出産しました。又、同時期に引っ越しをしました。

看護29期 古賀 千穂 (佐藤)

結婚後、出産・育児の為2006年4月に新古賀病院を退職しました。育児があるので、今後はパートタイマーで働こうと考え中です。

 (編集後記) 会員の皆様の原稿が会報の中に流し込まれるとホッとします。冬号は学生時代に想いを馳せるお役に立てましたか? (編集委員会)
